

アイテム

アートな伊丹を「観る・行く・体験」

アイテム

伊丹には、こんな春が、あったのか!(あったのだ!)
Spring has come!

小野リサの“ゆるやかな日々” アコースティックライブ 2012

6/23(土)
開場17:00 開演17:30
S席:4,500円 A席:3,800円【全席指定】
グループ割引(6名以上):1枚3,800円(S席の2階席、前5列)

いたみホール information

～メッセージ～

伊丹市のみなさん
小野リサです。
大切に歌い続けてきたボサノヴァ・ナンバーや
昨年リリースしたニューアルバム「Japao」のナンバーを中心に
さわやかなブラジルの風を感じていただければと思います。
私と一緒にゆったりと時間を一緒に過ごしませんか・・・。



「心地よいボサノヴァの“音楽の旅”のステージを体感して！」

(いたみホール事業担当/中澤典子)

ブラジル・サンパウロ生まれ、ボサノヴァ・シンガーの小野リサの待望の伊丹初公演が決定！「ボサノヴァ」は、ポルトガル語で「新しい感覚」という意味。ブラジル音楽の様式のひとつで、伝統的な大衆音楽をベースに、心地よく洗練された「新しい感覚」のサンバとして1950年代後半、リオ・デ・ジャネイロ在住の若手ミュージシャンたちにより生み出された。

日本におけるボサノヴァの第一人者である小野リサは、10歳までの幼少期をブラジルで過ごし、15歳からギターを弾きながら歌い始め、1989年デビュー。ブラジルに始まり、北米、ハワイ、イタリア、

フランス、アフリカ、メキシコ、キューバ、中米、アジアと「音楽の旅」をテーマに様々な国の名曲をボサノヴァにアレンジし、アルバムを次々とリリースしてきた。その旅の最終地点を日本と決めていたこともあり、日本の方への感謝と、震災を機に頑張っている方々へエールをこめて、初の全曲日本語によるアルバム「ジャポ」を昨年10月に発表。

本公演では「おいしい水」「イパネマの娘」「見上げてごらん夜の星を」他、名曲の数々を、ピアノ、ベース、ドラムのトリオとともにお届けする。彼女のリズムミカルなギターと清涼感溢れる歌声をぜひ生ライブで堪能して！

※曲目は変更になる場合がございます。



アイホール interview

「アイホール」とはどんなことをされているのですか？
アイホールの自主企画をはじめとしたプログラムの選定ですね。最近では企画を通じて、地域と演劇をつなげるように取り組んでいます。

「地域と演劇をつなげるとは、どういうことでしょうか？」
小中学生などを対象とした「夏休みワークショップ」のほか、幅広い世代に舞台芸術の面白さを体験してもらえ、企画「土曜日のワークショップ」を立ち上げました。一方、

「伊丹想流私塾」とは？
短編の戯曲(演劇の台本)を書き続ける講座です。劇作家の北村想さんが塾長をされており、私も初代師範を務めました。これまで師範に携わった方たちを含め、今年のOMS戯曲賞大賞を受賞した林慎一郎さんなど多くの有能な作家を輩出しています。

「5月には公演もありますね。」
1年間の集大成として書き上げた戯曲を連作上演します。多くの観客の目に触れることで、彼らにとっても大きな財産となることに期待しています。

(聞き手/権田康行)

伊丹想流私塾第16期生公演「つづく」
北村想塾長のもと1年間腕を磨いてきた劇作家による「終わらない」物語8篇。
5/19(土)、20(日)

舞台人、かく語りき
アイホール
ディレクター・岩崎正裕 (劇作家・演出家)

伊丹と世界がコンニチハ!

伊丹アイフォニックホール spot



和楽器専門店 水野楽器 伊丹市宮ノ前 2-2-5
072-782-2358 (水曜定休)

「アメンボアカイナ...」。大きくハキハキした声が聞こえてくる。「朗読赤とんぼ」の練習はストレッチや発声から始まり、約4時間の練習内容はボリュームたっぷりだ。結成2年目。だが、舞台発表・朗読ボランティアなどその活動は幅広く、今は次の発表会に向けて忙しい日々を送っている。

「スタッフさんに聞いてみた」
「ラストの朗読講座受講後にも「もっと練習したい!」と有志が集まり結成されました。講師は、40年近く続く日本初の朗読劇団「あめんぼ座」より迎えています。メンバー全員女性でいつも笑い声が絶えず、私が稽古場に何うと何故か爆笑の嵐。まるで会の一員のように和める素敵なサークルです。(担当/太田裕也)

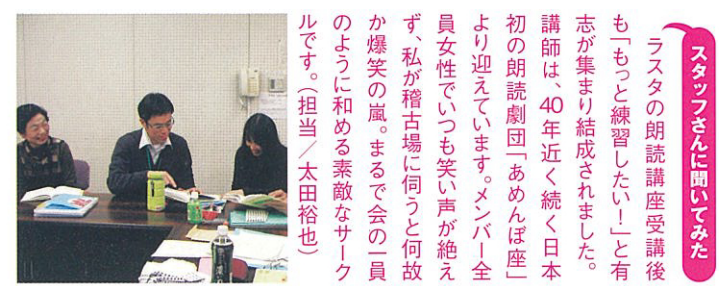
明治23年創業、伊丹の音楽文化の歴史と共に。
もともと大阪の江戸堀にあった楽器屋が戦災を逃れて移転してきた。今年で創業121年の老舗。当時の店主、水野佐平は琴の名職人だった。その頃、楽器といえば琴か三味線で、良家の子供たちは嗜みとして琴を習っていた。

昭和30年代以降、オルガン、ピアノが普及し始める。当時、市内の楽器屋は同店のみだったため、和楽器以外もさまざまな注文が入るようになる。音楽発表の場が少なかった時代、水野は発表の場として、自宅側に「丹水会館」を建てた。なんと、完工披露として琴奏者、作曲家として著名な宮城道雄を呼び、演奏会を行ったとか。

現店主の白石英樹さんは先代の親戚にあたり約20年前から店を営む。今も主力商品は琴と三味線で、修理も引き受ける。和楽器の専門店は少なく、阪神間一円から客が訪れる。伊丹の音楽文化の歴史と共に歩んできた二軒だ。



個性豊かに、大きな声で。十人十色の「声」が集まる朗読サークル。
「アメンボアカイナ...」。大きくハキハキした声が聞こえてくる。「朗読赤とんぼ」の練習はストレッチや発声から始まり、約4時間の練習内容はボリュームたっぷりだ。結成2年目。だが、舞台発表・朗読ボランティアなどその活動は幅広く、今は次の発表会に向けて忙しい日々を送っている。



ラストホール circle

朗読サークル 朗読赤とんぼ
毎月第2・4木曜日の13:00から17:00まで、ラストホール内にて活動。
5/19(土)には図書館南分館にて「大人のための朗読会」を実施予定(14:30~)。お問合せは図書館南分館:072-781-7333

本で解決！お悩み相談室

ぶんたくんのオススメ本



『男子のための恋愛検定』
伏見恵明 著
(理論社)

そんな事で悩んでいるなんて、男らしくないなあ。自信をつけるには、まず恋愛についてよく知っておかなくちゃ。この本でキミの恋愛をチェックしてみよう。恋愛力が低くてもだいじょうぶ！
恋愛とはどんなものか、こ

図書館大好き！
ぶんたくん
の本に詳しく書いてあるから、一から勉強してみよう。
告白、がんばるんだぞ。

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで！

ラスタホール1Fの図書館【図書館南分館】 南野 2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム
2012年4月1日発行(季刊春号・通巻70号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp

チケットプレゼント！
小さな画面に無限の世界 熊谷守一展(4/14~5/27) 5組10名様
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みなみさんのオススメ本

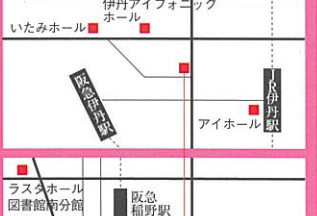


『男子のための恋愛検定』
山本浩・著
(メディアファクトリー)

君の好きな子って同じ学校の子？もしそうならこんな本はどうかな。徳島の高校の図書委員会に所属する個性バラバラな6人の青春物語。今の君みたいな、切なくて持っていきどころのない淡い感情が描かれていて、読むと

前向きになれるお話です。(だけど、あゆみちゃんの想い人、大地君は完璧すぎてちょっと共感しにくいかも!)
本のことならおまかせ！みなみさん

ラスタホール1Fの図書館【図書館南分館】 南野 2-3-25 ☎072-781-7333



みやのまえ文化の郷 美術館 工芸センター 伊丹郷町 柿倉文庫

いたみホール
5/19(土)
交響曲の世界をピアノ1台で！
独自の演奏とトークで人気のピアニスト田尻洋一。ピアノソロ、田尻編ベートーヴェン交響曲全集6回シリーズも大詰め！自殺未遂直後に完成された復活の「第2番」円熟期の明朗で茶目っぽい「第8番」などをB1サロンでお楽しみください。
田尻洋一トーク&ピアノコンサートシリーズ in 伊丹 Vol.53 [田尻編一編 ベートーヴェン交響曲のすべて part5 「第2番」「第8番」~序曲 エグモント・コリオラン]
5/19(土)14:00、2,000円。全席自由(入場整理番号付)、定員170名。072-778-8788

アイホール
6/22(金)~6/25(月)
読売演劇大賞最優秀作、11年ぶりの再演
青年団主宰の平田オリザと、岸田戯曲賞受賞作家の松田正隆がタッグを組んだ、90年代演劇を代表する金字塔的な作品。長崎の離島を舞台に、等身大の男女が繰り出す葛藤を細やかに紡ぐ劇作と緻密な演出によって立ち上がった傑作。期待の再演。
青年団「月の罫」
6/22(金)~6/25(月)。
一般3,000円、学生・シニア2,000円、高校生以下1,500円。
4/28より発売開始。072-782-2000。

ラスタホール
4/28(土)
新藤監督最後の作品「1枚のハガキ」
日本映画界の巨匠・新藤兼人が、自身の出兵体験をもとに、戦争の不条理と悲劇を生きる力に変えていく人々の力強さを描いたヒューマンドラマ。監督自ら「映画人生最後の作品」と挑んだ今作に出演する名優たちにも注目したい。
ラスタ映画倶楽部「1枚のハガキ」
4/28(土)10:00~14:00・18:00。一般800円、高校生以下・60歳以上600円(当日各200円増)。072-781-8877

アイホール
4/27(金)~4/30(祝)
女優たちだけの華やかな舞台
東京を拠点に活動し、注目を集める若手劇団がアイホールに初登場！ルネサンス時代は男性だけで上演していたシェイクスピア作品を、現代的にわかりやすくアレンジし、女優だけで上演する人気シリーズ第2弾です。
柿喰う客「絶頂マクベス」
4/27(金)19:30、4/28(土)14:00・18:00、4/29(日)14:00・18:00、4/30(祝)14:00。
一般3,300円、学生2,000円、高校生以下1,000円(当日各500円増)。072-782-2000。

伊丹市立工芸センター
8/8(水)締切
「酒の器」大募集！
今年の「伊丹国際クラフト展」のテーマは「酒器・酒盃台」。日本酒が美味しくなる「酒器」、お酒のあるシーンを彩る「酒盃台」を募集中です。素材・ジャンルは一切不問。皆さんの自由な発想の作品をお待ちしています。
公募「2012伊丹国際クラフト展“酒器・酒盃台”」
エントリー締切は8/8(水)。詳細要問合せ。要項請求は工芸センターまで。072-772-5557

伊丹市立伊丹郷町館
6/1(金)~6/2(土)
朗読とダンスが紡ぐ「枕草子」
重要文化財「旧岡田家住宅」を舞台に、“空間と身体と呼応”をコンセプトに創作を行うボヴェ太郎が、文学座の女優渋谷はるかを迎え、清少納言「枕草子」の世界に挑む。古建築に(ことば)がほのかに浮かび上がる繊細な時間をぜひ。
Fragments — 枕草子 — ボヴェ太郎舞踊公演
6/1(金)・6/2(土)各19:30。
一般3,000円 学生・伊丹市民2,000円。072-772-5959

伊丹アイフォニックホール
7/13(金)
名門プラス・セクションの輝き！
アメリカを代表する同国最古のオーケストラ「ニューヨーク・フィルハーモニック」の首席奏者らで構成された金管五重奏団が、5年ぶり待望の再来日。金管ならではのプリリアントな輝きに満ちた音楽をお楽しみください。
alphonic 地球音楽プログラム
「庄巻」アメリカン・サウンド」
7/13(金)19:00。一般3,500円、学生2,500円(当日500円増)
072-780-2110

ラスタホール
4月~
春から始めよう「ラスタホール春の講座」
新年度を迎え、何かを始めたいという方、ラスタホールでは様々な講座・イベントをご用意しています。研究・趣味・仲間作りなど、ご自身の目的に合わせてお選びください。きっとあなたにピッタリの何かが見つかるかも…。
「ラスタホール春の講座」
4月~随時スタート。講座・イベントについての詳細は072-781-8877

伊丹市立美術館
6/10(日)~6/24(日)
多彩な美術の祭典
年に一度の「伊丹美術協会展」が今年も開催されます。協会による洋画・日本画・写真・書・彫塑・工芸・デザインと、多様なジャンルの作品を展覧。具象作品から抽象作品まで、多彩な作品で活気あふれる展覧会をお楽しみください。
平成24年度 伊丹美術協会展
6/10(日)~6/24(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。
入場無料。072-772-7447

伊丹アイフォニックホール
6/24(日)
驚異の喉歌、悠久の大地が育んだ調べ——
モンゴルの北西に位置するトゥバ共和国は、喉歌「フーメイ」が盛んな国。本公演では、その高い音楽性が欧米で絶賛を受ける伝統音楽グループ「ファンフルトゥ」を迎え、民俗楽器の伴奏で大自然や愛、故郷の歌をお届けします。
alphonic 地球音楽プログラム「森と草原と馬と—南シベリアの詩」
6/24(日)15:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。
072-780-2110

学芸員日々是作品随想 学芸員/岡本梓



「猫」 熊谷守一 (1965年、油彩/板、愛知県美術館(木村定三コレクション))

縁側で気持ちよく眠る猫。仙人あるいは超俗の画家・熊谷守一(1880-1977)は、猫をはじめ、たくさんの生きものを愛して描いた。「人間と違ってウンをいわないからかわいいと思っ」の言葉に、97歳まで生きた達観を感じる。そういえば、日なたボッコをしなくなった。紫外線を浴びたくないし、そもそもボーツとする時間すらない。でも子どもの頃は、ネコが陽のあたる場所をねらって昼寝するみたいに、床でゴロゴロしては邪魔扱いされた。あのと きはあり余る時間潰しだったけど、今では最高に贅沢に思う。だから私はこの猫がうらやましい。

小さな画面に無限の世界 熊谷守一展
4/14(土)~5/27(日) 月曜日(4月30日は開館、5月1日は休館)
10:00~18:00(入館は~17:30) 一般800円、大高450円、中小150円

「風刺とユーモア」【伊丹市立美術館】 宮ノ前 2-5-20 ☎072-772-7447

工芸作家の道具や技法を掘り下げる
「作」考察
スリ板
彫金の道具で思い付くのが糸鋸やヤスリ。でも、一番長い時間触っているのが「スリ板」だそうです。
金属を糸鋸で切ってヤスリをかけた後、鑢付けをしたり作業を繰り返すジュエリー

ジュエリー作家 平川文江さん
大阪市在住。京都芸術短期大学 建築インテリア学科卒業。アトリエドームにてジュエリー制作を学ぶ。伊丹ジュエリーカレッジ講師。FUSE jewellery making studio 主宰

制作。ほとんどの時間を、机に固定したスリ板の上で行います。初めは綺麗だった板が、作品を作っていくうちに、ギザギザで、穴だらけに。いつも脇役の道具だけれど、傷だらけの姿を見る度、結構作ったなあと思う」のだそう。
6月から始まる「ぼら大好き」展に向けて、薄く短くなった板の上で、美しいものを創ろうと気合いを入れる平川さんでした。

「ぼら大好き」展
6/16(土)~7/1(日) 入場無料(月曜休館)
10:00~18:00(入館は~17:30) ジュエリーをはじめ、器やオブジェなど、ぼらに関する工芸品が一堂に！

工芸の企画展と講座など【伊丹市立工芸センター】 宮ノ前 2-5-28 ☎072-772-5557